



BHUTAN

学校名：長野県若槻養護学校

氏名：丸山妙子

[担当教科：英語]

- 実践教科等：総合的な学習の時間
- 時間数：5 時間
- 対象：中学生 2 年・3 年
- 対象人数：5 人

[1]単元名

ブータンを通して考えるぼく・わたしの幸せ

[2]単元の目的/目標（ESD の能力・態度）

- ① ブータンと日本の生活、文化の相違点に気づき、他国の文化を尊重する気持ちを育てる（多面）
- ② JICA ボランティアの活動を通して、ブータンと日本のつながりを知る（関連）
- ③ 多様な価値観に触れることを通して自分の身近にある幸せに気づく（参加・伝達）

[3]ESD(持続可能な社会づくり)の視点

多様性	相互性	有限性
公平性	連携性	責任性

[4]単元の構成

時限	本時のねらい、テーマ	学習活動・学習内容	使用教材	評価の観点と方法
1	【くらべてみよう ブータンと日本】 ・クイズを通して楽しみながらブータンについて知る。	①三択クイズ ②〇×クイズ ③フォトランゲージ ④体験コーナー（衣装試着等）	・パワーポイント ・写真 ・衣装 ・マニ車	・学習活動の観察（クイズに答えようとしていたか）
2	【ブータンと日本のつながり～ブータンで活躍する日本人①～】 ・西岡京治氏のブータンでの功績を知る ・青年海外協力隊、シニア海外ボランティアで活躍している人を知る。	①英語教科書（3 年） ②ダショー西岡の動画映像を見る ③ブータンで活動している青年海外協力隊、シニア海外ボランティアの方々の紹介	・TOTAL ENGLISH3 ・You tube 映像 ・青年海外協力隊、シニア海外ボランティアの方々の写真	・学習活動の観察（西岡京治氏の功績に対して感想を持ち、語ることができたか）
3	【ブータンと日本のつながり～ブータンで活躍する日本人②～】 ・元青年海外協力隊員の方の出前講座	①長野市在住でブータンで活躍されていた元青年海外協力隊の方から現地での活動の様子、活動から得たことなどをお聞きする 講師：榎本智恵子さん	・パワーポイント ・映像	・学習活動の観察（講座での反応、講座後の感想発表）
4	【ブータン料理に挑戦】 ・ブータンの料理を作り、試食することで食文化に触れる。	①英語のレシピ本から材料を知る ②ケワダツィを作って試食	・レシピ本 ・食材	・学習活動の観察（調理活動への関わり方）
5	【ブータンを通して考えるぼく・わたしの幸せ】 ・GNHの考え方に触れたりインタビュー映像を見ることを通して、自分の身の	①GNHの考え方に触れる ②現地の中学 2 年生へのインタビュー「どんな時、幸せを感じますか？」を見る	・パワーポイント ・GNH,GDP ランキング ・ワークシート	・学習活動の観察（ワークシートへの記入、自分の考え発表）

	回りの幸せに気づく。	③自分はどんな時に幸せを感じるのか考える		
--	------------	----------------------	--	--

〔5〕授業の詳細

1 時限目：【くらべてみよう ブータンと日本】

- ① 3択クイズ(国の概要について) ※添付1参照

例)・ブータンはどこにあるでしょうか？

①アジア大陸 ②アメリカ大陸 ③アフリカ大陸

・ブータン王国の建国はいつ？

① 紀元前 ②西暦 1907 年 ③西暦 158 年

・ブータンの面積は？

① 日本と同じくらい ②日本の2分の1

③ 長野県の3.5倍

- ② ○×クイズ(生活や学校について) ※添付2参照

例)・ブータンの授業は英語で行われる →○

・ブータンには野犬が一匹もない →×

・ブータンでもリンゴが収穫できる →○

- ③ フォトランゲージ ※添付3参照

1枚写真を選び、何を表わしているのか自分の考えを語る

- ④ 体験コーナー

キラやゴの試着、マニ車・お金・切手・民芸品などの展示見学等

ココがポイント！

- ・楽しくブータンに触れられるようクイズ形式でテンポよく進めた。
- ・答えは説得力のある写真や資料をパワーポイントで示すことを心がけた。
- ・さらに知りたい生徒にはパソコンで調べる時間を改めて確保した。

2 時限目：【ブータンと日本のつながり～ブータンで活躍する日本人①】

- ① ダショー西岡のブータンでの功績について知る

You Tube ダショー西岡 <http://www.youtube.com/watch?v=4SLzh726sIs> を見る

(3年生は TOTAL ENGLISH3 Lesson4 A Man's Life in Bhutan を事前に学習)

～生徒の感想～

- ・焼畑をやめて稲作に切り替えるように800回も農民と話しあったことは年間180回も・・・すごい
- ・食料自給率86パーセントにまであがったなんてすごい

い

・敗血症ってどんな病気なんだろう？

・葬儀に参列した人3000人ってすごい

ココがポイント！

- ・ダショー西岡について動画を利用した。短時間で効率よくダショー西岡の功績について知ることができた。

- ② 青年海外協力隊やシニア海外ボランティアで現在活躍している方々の紹介

・写真を示し、活動内容を紹介

3 時限目：【ブータンと日本のつながり～ブータンで活躍する日本人②】

- ① 元青年海外協力隊員(ブータン: 青少年活動) 榎本智恵子さんによる出前講座

- ・パワーポイントで青年海外協力隊の隊員として派遣されるまでの訓練の様子、現地(デウゲル小中学校付属ろう学校)で美術の授業を行うことになり、何もない状態から活動を生み出していく様子を紹介していただいた。動画もあり、興味を持ってお話を聞くことができた。
- ・2年間の活動を通して感じた、自分の価値観だけで決めるのではなくて国や立場によって違う価値感をみんな認めてあげることが大切だということに触れていただいた。

ココがポイント！

- ・事前に講師と授業内容の打ち合わせを綿密に行った(生徒たちの様子をお伝えし、興味のある内容と適切な量、授業の目的等を顔を合わせて打ち合わせし、当日を迎えた)。

～生徒の感想～

- ・謝らないで許してもらえる文化って素敵だなと感じた。
- ・子どもたちが元気で、元気を分けてもらえるような気がして元気になった。
- ・ブータンの生活が見れてよかった。
- ・すぐ停電してしまうことや茶色い水が出ることに驚いた。
- ・人の幸せを願うこと大切なことだから見習いたいしすごいなと思った。自分の幸せを願うの

が日本では当たり前なのにブータンの人は人の幸せを優先するってすごいなと思った。

4 時限目：【ブータン料理に挑戦】

① ケワダツィを作る

レシピは事前に模造紙に大きく書いておいき、当日はいつでも見ることができるよう調理室に掲示した。

② 試食

ココがポイント！

- ・現地で購入した英文レシピ本を利用した。
- ・レシピの材料は英語の時間に生徒たちが分担して訳した。
- ・あらかじめレシピを扱っておいたので、見通しを持って調理活動に取り組めた。



<調理の様子>

5 時限目：【ブータンを通して考えるぼく・わたしの幸せ】

① ブータンのGNH政策について知る（パワーポイント）

② ブータンの8年生のインタビュー映像を見る“When do you feel happy?” ※添付4を参照

③ 「どんな時に幸せを感じますか？身の回りの幸せを見つけてみましょう」

④ 友達と考えをシェアし合う

「ペットショップに行けた時」「絵を描いている時」「きれいな景色を見た時」

「友達が楽しそうなのが幸せ」「友達が笑っているのが幸せ」

ココがポイント！

- ・始めに教師が感じる身近な幸せについて例をあげ、幸せに対するイメージをふくらませるきっかけとした。
- ・イラストを描くことが得意な生徒もいたので、ワークシートの記入方法はイラスト・付箋どちらか自分で選べるようにした。



<ワークシート>

～生徒の感想～

- ・幸せはつきない。
- ・幸せっていっぱい。
- ・まず笑顔。「私が笑わずにどうしてみんなが笑えるんだい？」

【6】児童・生徒の反応/変化

① 異文化を認める気持ちの育ち

今回ブータンを連続して扱ったことでブータンの文化に何度か触れた。事象の違いだけでなく、いろいろな考え方や価値観の違いに気づき、受け止めたり認めたりするようになっていった。

② 日本のよさ、日本人の素晴らしさに改めて気づいた生徒達

ダショー西岡が村人と何回も話し合いをして農業を伝えていったこと、農業以外にも橋や水路の作り方等生活全体の改善に貢献したことに初めて触れ、改めて日本人、日本のすばらしさを感じ、日本人としての誇りを感じた様子だった。

～生徒の感想～

- ・日本とブータンの学習で一番印象に残っているのは西岡氏がブータンへ行って野菜の育て方をずっと教えていたことを知り、日本人、すごい人がいるなと思いました。

③ 幸せのあり方についての気づき

いろいろな幸せのあり方（経済的に豊かなことだけが幸せではない、人の幸せが自分の幸せ、身近なところに幸せがたくさんある、等）について触れ、自分の身の回りに小さな幸せがたくさんあることや自分が幸せであることで周りも幸せになることに気づく生徒もいた。

～生徒の感想～

- ・幸せを考えることは難しいけど、大切なことだと思いました。ブータンの人々は他人の幸福を願うということに尊敬します。
- ・ブータンの人々が幸せを感じる時は人の幸せを感じた時。人の笑顔が自身の幸せになるんだと思える人々はきっと何があってもみんなで励まし合って生きていくんだなと思った。
- ・彼らのように人を人として心配し、笑いあって行けるのなら、それ以上の幸せはない。私も人の幸

せを心から願い、そして一緒に笑顔になれるような人間になりたい。ブータンを知ることができて良かった。心からそう思う。

〔7〕授業実践の成果と課題

＜成果＞

- ① ブータンの GNH 政策を知ることや現地の学生への幸せインタビューの映像を見ることをきっかけとして自分の身近な幸せを探したことは、生徒たちが身の回りに小さな幸せがたくさんあることや自分が幸せでいることが周りの人にとっての幸せにつながるということに気づききっかけとなった。
- ② ブータンという国を通して様々な国や暮らし、経済の発展優先でない考え方等様々な価値観があることを投げかけることができた。
- ③ 西岡京治氏の功績、世界各地で活躍する日本人、日本の技術協力等について扱うことで世界の中で日本の役割に関心を持つことができた。

＜課題＞

- ① 生徒たちの発達段階に合わせ、心を揺さぶるような題材の開発をさらに行っていききたい。
- ② 「経験して終わり」「知って終わり」とならないように、生徒たちが自分の生き方や価値観について考えを深めたり広げたりできる展開を持ち、授業に臨みたい。

〔8〕参考文献(引用文献・参考資料)

- ・「ブータンの朝日に夢をのせて」 小暮正夫 くもん出版 1996年
- ・「現代ブータンを知るための60章」 平山修一 明石書店 2005年
- ・「ブータン、これでいいのだ」 御手洗瑞子 新潮社 2012年
- ・「ブータンの学校に美術室をつくる」 榎本智恵子 WAVE 出版 2013年
- ・「Foods of the Kingdom of Bhutan」 THE TARAYANA FOUNDATION & THE BHUTAN FOUNDATION
- ・ブータン Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%96%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%83%B3>
- ・ブータン政府観光局 <http://www.travel-to-bhutan.jp/>

〔9〕使用教材(写真／図などの実物)

- ・TOTAL ENGLISH 3 学校図書
- ・You Tube ダシヨー西岡 <http://www.youtube.com/watch?v=4SLzh726sIs>

添付1 三択クイズ(一部)

Q3:ブータンの国旗はどれ？ 	Q10:ブータンの人口は？ ①約700万人 ②約100万人 ③約70万人	Q12:通貨は何？ ①ドル ②ニュルタム ③バーツ
答え:① 黄色 王の権力 オレンジ色 チベット仏教 龍の白 清浄 	答え:③約70万人 日本の都道府県で2番目に人口が少ない 島根県と同じくらい。 (ちなみに・・・ 長野市約38万人 長野県約212万人) 人口密度は、約18人/Km² (ちなみに 日本は約339人/Km²)	答え:② ニュルタム  三代国王 四代国王 五世国王 田嶋 レートは 1ニュルタム＝約1.6円です！

・添付2 ○×クイズ(一部)

Q8:
ブータンの家は
平屋(一階建て)が
多い

Q9:
ブータン国内には
信号機がない

Q13:
ブータンの国技は
相撲である

答え: × 2階建て〜3階建てが多い



国で建築様式が定められています

答え: ○信号機はひとつもありません



人の手による手動信号(通称:トラフィック)が唯一の信号です

答え: ×アーチェリー



・添付3 フォトランゲージ(一部)



<エイトイレブン>



<ランチボックスのかご>



<マニ車>

・添付4 When do you feel happy?(動画)



<母という時>



<友達と会っている時>



<雨が降っている時>



<ゲームをしている時>

[10]教師海外研修を終えて(感想・今後の展望)

長年国際理解教育に携わりながらも、自分が授業実践をする機会はほとんどなかった。今回、ブータンで体験し感じたことをもとに授業実践するという機会をいただき、本当に感謝している。JICAの研修ということもあり、校内の職員、長野県 JICA の方々にも協力していただいた。自分一人ではできないかけがえのない経験をする事ができた。

本校は病弱特別支援学校で、心身の不調や病気で社会経験や他者との関わりが少ない生徒が多い。このような生徒たちが外国の文化や様々な価値観に触れることができる国際理解学習は大変意義のある学習だと思う。違いを認め仲良くすることの大切さ、知らないことを知る楽しさ、自分ならどう思うか、自分ができそうなことは何か等国際理解教育で扱いたい内容は尽きない。生徒たちがよりよく生き

ていく手助けとなるような国際理解教育をさらにめざしていきたい。